

よこはま こども植物園だより

No.176

〒232-0066 横浜市南区六ツ川 3-122
TEL 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第3月曜日は休園、祝日の場合は翌日)
https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/



令和7年2月発行
発行部数 23,000部
編集・発行
(公財)横浜市緑の協会
横浜市こども植物園

植物には、きびしい自然界を生き延びるために生み出したさまざまなライフサイクルがあります。今回は、早春から地上に姿をあらわして花を咲かせ夏までには地上から姿をなくし、1年の大半を地中で過ごす、スプリング・エフェメラル（春のはかないもの）と呼ばれる植物とその知恵に注目します。

~植物たちのくふう~ 早春の妖精たち スプリング・エフェメラル Spring Ephemerals

はかないけど
とってもたくましく
生きています。

春だけなのはわけがある

背が低い花たちは、林の木々が葉を広げてしまうと太陽の光がさざざられ地面に届きにくくなるため十分に光合成することができません。そこで他の植物が目覚めていない、太陽の光が地面にたっぷり届くうちに、いち早く太陽の光を利用して花を咲かせ、受粉をし、タネを作り、養分を蓄えるという生活サイクルを送るようになったのが寒さに強いスプリング・エフェメラルとよばれる植物たちです。

生活場所 おもに落葉樹の林。

特徴 球根や根茎をもつ。早春に活動する昆虫がターゲットの虫媒花。

ぜひ、フィールドで観察しよう
日本の野山に生える
スプリング・エフェメラル



アマナ (ユリ科)



コバイモの仲間 (ユリ科)



イチリンソウ (キンポウゲ科)



ニリンソウ (キンポウゲ科)



フクジュソウ (キンポウゲ科)



セツブンソウ (キンポウゲ科)



シロポウエンゴサク (ケシ科)

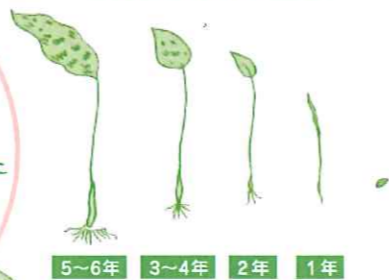


ムラサキケマン (ケシ科)



カタクリ (ユリ科)

●カタクリの一生●

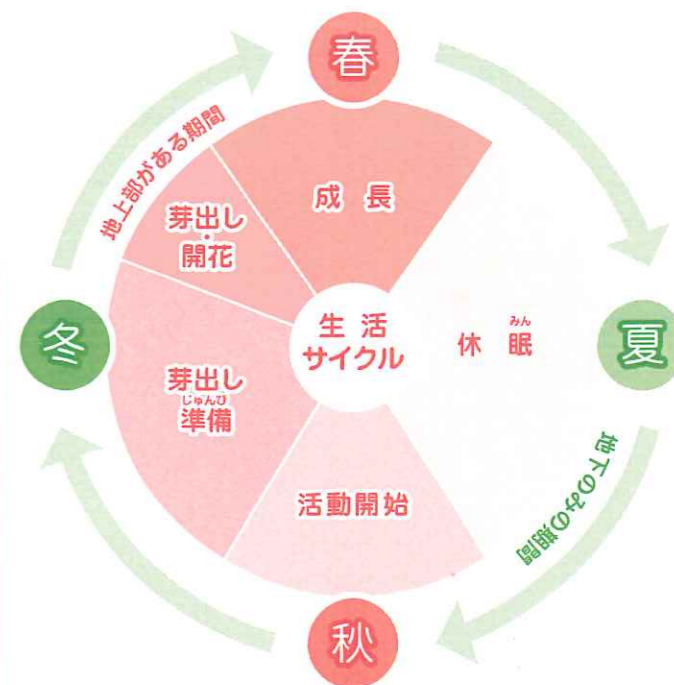


5~6年 3~4年 2年 1年

カタクリは種子が発芽してから花をさかせるまでなんと約8年もかかります。

スピーディーかつスロー

花が咲いてタネが出来るまで、わずか2週間というスピード技を持つ種類もあります。その反面…わずかな期間しか地上部がないため、大きくなるまで時間がかかります。成長の速さを犠牲にして、林床で生き延びるすべを手に入れた植物たちと言えます。また、このことから、太陽の光を浴びて光合成することは、植物が成長するのにとても大切であることがよくわかりますね。



身近な種類にも!



秋、花壇に植え付けるチューリップやヒヤシンス、春咲きのクロッカス、アネモネなどもスプリング・エフェメラルです!

スプリング・エフェメラルのようなライフサイクル

ツルボ

ツルボは草地や農作地のヘリなどに生える球根植物。夏から初秋に桃色の花が咲きます。春と秋の2回葉を出し、夏と冬は葉を枯らします。

ストップ!
外来種

みんなで守る 日本の生態系

私たちヒトの活動によって運び込まれた、もともとその地域にいなかった植物を外来種、または帰化植物といいます。



なぜ、外来種が増えるといけないの?

もともとその地域に生えていた植物(在来種という)の生育の邪魔をして、絶滅させてしまうおそれがあります。

具体的には...

- 成長の速い外来種に日照りをさえぎられる。→十分に成長できなくなる。
- 受粉に必要な昆虫や鳥を横取りされる。→子孫を残せなくなる。
- 近い仲間だと交雑し遺伝子の変化が起きてしまう。(遺伝子がく乱、遺伝子汚染)
- 在来種の生育を妨げる物質を出して生育できなくしてしまう。
- 病気や害虫を広めてしまう。

などが考えられます。

在来種は、外来種と共存するような進化をしていないため、競争に負けやすいという一面があります。

さらには、私たちヒトを含めた共存共栄の生態系がごわれてしまいます。私たちみんなが関心を持つことがとても大切です。



これらの植物を見つけたら注意!

特定外来生物 ●とくていがいらいせいぶつ●

日本以外の地域から来た、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害をもたらす、またはもたらすおそれがある生物。特定外来生物に指定されると、飼育、栽培、保管、移動などが規制されます。現在 19 種類が指定されています。(参照: 環境省ホームページ)

※もしこれらの植物を見つけたらまずは、その土地の管理者や行政機関に相談してみてください。(※参照: 環境省・自然環境局ホームページ)

●神奈川県で確認されている種類●



ナガエツルノゲイトウ

(ヒユ科)
南アメリカ原産



ポタンウキワサ

(サトイモ科)
世界の熱帯～亜熱帯に分布



オオキンケイギク

(キク科)
北アメリカ原産



オオハンゴンソウ

(キク科)
北アメリカ原産



アレチウリ

(ウリ科)
北アメリカ原産



オオアサモ

(アリノトウグサ科)
南アメリカ原産



オオカワジシャ

(オオバコ科)
ユーラシア大陸全域～
アフリカに分布

こどもサイエンス講座 「花粉の超スゴイひみつ」

日時: 3月23日(日)
13:30~15:30

費用: 1000円/組

対象: 小中学生 (小学生は保護者同伴)

締切: 3月6日(木)

定員: 10組

横浜市こども植物園

春のイベント

2025

スケジュールは変わることがあります。
ホームページ等でご確認をお願いいたします。

こども植物園 春祭り

日時: 5月5日(月・祝)
10:00~15:00

内容: 収穫物、ドライフラワー、
雑貨販売、ヨーヨー釣り、
クラフト他

場所: 池の前広場

講座の申込方法

講座名、開催日、郵便番号、住所、電話番号(日中連絡が取れる番号)、参加する方の氏名(フリガナ、お子様の学年・年齢、保護者同伴の場合は保護者の氏名)を明記し、ハガキ、FAX、こども植物園「緑の相談所」(開園日の9時~16時)、ホームページ(QRコード)からお申し込みください。

締切日必着。応募多数の場合は抽選します。
結果は当選者に開催日の10日前を目安に郵送にてお知らせします。



お問い合わせ

TEL: 045-741-1015 FAX: 045-742-7604
〒232-0066 横浜市南区六ツ川3-122
横浜市こども植物園

<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>

